



No. 1 (涼夏号)

発行日
平成4年7月31日
発行
蒲郡マリンライオンズクラブ
編集
同上 P R 委員会
事務局
蒲郡市港町 商工会議所内3F
TEL 68-1100

発行のことば

蒲郡市には、二つのライオンズクラブがあります。30年の歴史をもつ蒲郡ライオンズクラブとそこから分かれて新しく3年前に誕生した蒲郡マリンライオンズクラブとあります。LIONS (ライオンズ) とは Liberty (自由) 、Intelligence (知性) 、Our Nation's Safety (国の安全) の頭文字をとったものであります。

昨年の10月、私たちが実施した「ライオンズクラブについての市民アンケート」の中で、ライオンズクラブの存在を市民の73%の方が認めておられます。しかし、どのような活動をしてる団体かよくわからないと答えた人が市民の約20%近くおられました。そんな意味から歴史の浅い私たち蒲郡マリンライオンズクラブは、市民のみなさんに活動を少しでも理解していただき、私たちの奉仕活動にご協力をねがうため、ここに、ささやかな季報「マリンレポート」を発行することとなりました。

市民のみなさんのご愛読を心からお願いして発行のことばといたします。

今年度(1992年7月~1993年6月)の役員です。どうぞよろしく

ライオンズクラブの活動は、毎年7月に始まり翌年の6月で終ります。

1992年7月から1993年6月まで一年間の蒲郡マリンライオンズクラブの役員と専門委員会の正副委員長は次のとおりであります。

役員会長 市川直

前会長 森桂吾

第1副会長 市川伊嗣

第2副会長 小畠利夫

第3副会長 大場貴之

幹事 大岩政寛

会計 鳴田栄治

ライオンテーマー 山口正

テールツイスター 山本四十三

二年理事 小田幸重

大原義一郎

竹尾喜一郎

夏目憲行

夏目憲

一年理事 河井勤夫

鈴木靖一

鈴木俊

永田満雄

木本多初

木本初

岩浦敏郎

浦木敏喜

木光利

藤澤宏巖

近滝尚史

2R環境保全公衆安全委員 榎本尚史

クラブを運営し、事業を進めるため全会員が運営、事業別の各委員会に所属し活動をしています。

運営委員会 ○正 ○副委員長

会員委員会: ○鈴木靖夫 ○鈴木殖夫

P R 委員会: ○大原義政 ○鈴木孟

○鈴木良朗

指導力育成委員会: ○野田孝道 ○小田多良

情報委員会: ○永田武満 ○中瀬充二

財務委員会: ○近藤洋光 ○野口長務

出席委員会: ○高橋二郎 ○長田東一

事業委員会 ○正 ○副委員長

四献推進委員会: ○小田幸重 ○岡田光男

○木村利男

市民教育奉仕委員会: ○本多初雄 ○鈴木正己

環境保全公衆安全委員会: ○吉見敏春 ○伴捷文

社会福祉委員会: ○鈴木俊一 ○加藤寿則

計画委員会: ○竹尾喜一郎 ○市川貞夫
○尾崎保久
大会委員会: ○夏目光規 ○鈴木修身
会則委員会: ○木村利男 ○福沢君夫

Y E 委員会: ○夏目憲行 ○牧野孝彦
薬害糖尿病委員会:
○河井勤 ○林之洋

みんなの声を生かし 愛の心で地域へ奉仕



会長 L 市川 直

私たちが所属するライオンズクラブは、自由と知性を重んじ国と世界の安全を願ってやまない国際的団体であり、現在、世界中で4万、日本国内で約3千のクラブを数えます。

蒲郡マリンライオンズクラブの今年度は「愛の心で地域へ奉仕」をスローガンにかけ、毎月2回定期的に集まり例会活動をする他、社会奉仕活動、即ち、次代を背負う青少年の育成、市民の教育、文化、福祉の向上と健康、安全生活の保持等に、微力ですが住みよい豊かな蒲郡市のまちづくりのお手伝いをしてまいります。

従って、みなさまから私たちクラブに寄せられる声を承りながら活動を推進したいと思いますので、何卒、この度発行の本紙「マリンレポート」を通して蒲郡マリンライオンズクラブへの理解とご協力をいただくとともに、みなさまのご要望を進んでお聞かせください。その場合、クラブの事務局(電68-1100)へ電話連絡をされるか、または、お近くのクラブ会員へ直接お話し下さいますようお願いいたします。

市民のみなさんとともに歩むクラブを念願し、みなさまから親しまれる団体となることをお約束して挨拶とします。

活動の重点と主な年間活動計画

上記のクラブスローガンならびに会長の所信をうけて具体的には次のような活動を進めてまいります。

1. 市民および会員の健康づくりの努力

- (1)献血、献血、献血、献血骨髓運動
- (2)薬害、糖尿病の予防運動
- (3)市民健康まつりへの参加

2. 青少年の健全育成と文化事業の実施

- (1)ボーイスカウト、ガールスカウト、海洋少年団への助成
- (2)市内中学生代表の海外派遣研修の支援
- (3)クラブ組織による青少年の海外派遣と受け入れ
- (4)国際交流事業への協賛
- (5)第4回市民文化講演会の開催

(右下写真参考)

3. 市民の福祉充実、安全生活保持への協力

- (1)交通安全、環境保全キャンペーン
- (2)530運動への参加
- (3)社会福祉施設「つつじ寮」の慰問
- (4)災害被災者へのカンパ活動

4. 楽観的な内的充実活動とPR活動の展開

- (1)例会、委員会活動等の無断欠席の絶滅
- (2)ミニ広報紙「マリンレポート」の発行
- (3)会則、付則の見直し

5. その他クラブスローガンにふさわしい活動の推進

以上、紙面の都合から項目的に簡略化して述べましたが、みなさまのご協力、ご支援をお願いするとともに、不明な点、ご不審に思われる点については、お尋ねくださいますようお待ちしています。

(幹事 L 大岩政寛)

安全で美しいまちづくりをキャンペーン

安全な蒲郡市と美しい三河湾づくりをめざして次のような記念行事が行われます。

市民のみなさん、ぜひ、ご参加下さい。

- ・日 時 9月3日(木) PM1:30
- ・会 場 蒲郡市民会館東ホール
- ・主 催 蒲郡市危険物安全協会
- ・協 賛 蒲郡マリンライオンズクラブ
- ・記念講演 前エッソ副社長松野宗純氏
テーマ「人生は雨の托鉢」



大盛況だった第3回市民文化講演会(平成3.5.22実施)



No.2 (爽秋号)

発行日
平成4年10月23日
発行
蒲郡マリンライオンズクラブ
編集
同上 P R 委員会
事務局
蒲郡市港町 商工会議所内3F
TEL 68-1100
FAX 69-2200

知ろう！ ライオンズクラブのアクト

さわやかな秋を迎え、ここに「マリンレポート」第2号（爽秋号）をお届けします。市民の皆さんに、私たち蒲郡マリンライオンズクラブの活動を少しでも理解していただき、私たちの奉仕活動にご協力ねがうため、「マリンレポート」を今後継続して発行してまいります。

今号からは、私たちの活動即ちアクティビティ（略してアクトと呼びます）を順に報告して行きますので、ご協力いただけます方は、ぜひご参加を。また、ご意見のある方は事務局までご一報下さい。

『愛の心で地域へ奉仕』これが今年度の当クラブのスローガンです。このスローガンのもと本号は、以下のようなアクトを中心レポートし編集をしてみました。

- 自然にやさしい環境保護キャンペーンを進めるための3つの活動について。
- 国際交流を推進するため、8月第2例会の席へタイの留学生を招き激励をしました。その時の交換意見について。
- 私たちは、市内中学生代表の台湾派遣研修を以前から支援しておりますが、今回、同行した会員の感想記について。

キヤンペーン



みんなでつくろう！ 美しい蒲郡と青い三河湾

私たちが住む蒲郡と、日頃親しんでいる三河の海を、きれいにしたいと思うのは市民共通の願いがあります。

「捨てない」「流さない」「汚さない」が美化の基本で、これを推進していかなければなりませんが、せめて私たちのクラブができる3つの活動を展開してみました。

【蒲郡のシンボル竹島付近のクリーン作戦】

9月20日(日)、午前10時から約2時間、少年3団体（海洋少年団、ボーイ・ガールスカウト）と協力して竹島海岸の清掃と船による海上ゴミ拾いを行いました。

当日は、少年3団体が190名、クラブ会員80名の合計270名が海岸で、海上では会員所有のモーターボート3隻と市ヨット協会所属の大型ヨット1艇が参加し汗を流しました。少年3団体のみなさんご苦労さまでした。

【家庭の廃油を

川や海へ流さない働きかけ】

9月3日(木)、市民会館で行われた、蒲郡市危険物安全協会30周年記念文化講演会への参加者500名に対し、家庭廃油を流さないよう強く呼びかけ、廃油凝固剤「テンプル」を配布しました。

【三河湾浄化推進協力基金への寄託】

クラブが保有する定期預金の利息の一部を、三河湾に面する7市1町でつくっている三河湾浄化推進協議会の活動資金として寄託するもので、具体的には法人会員（1口5千円）の10口分を蒲郡信用金庫を通して寄付いたしました。



参加者全員集合、クリーン作戦開始

留学生大ひと言語る

—— 信仰心と尊敬心の不足を指摘 ——

厳しい日本の若者観

8月の第2例会では、タイの女子留学生をゲストに迎えました。当クラブのL深津六郎宅にホームステイしているサヤーニ、デアンチダー、ヌッチャナートの3人です。

「日本人の優しさが好き」「博士課程まで頑張りたい」「日本語を勉強して日タイの掛け橋に」

「お好み焼きが好き……」「カラオケも好き」

あたたかい心の触れ合いを求める中で、前向きな生き方をしている彼女らに

「日本の若者をどう思いますか？」と質問を向けてみました。

「高校生は頑張っているけど、大学生になるとアルバイトばかり」「男性に積極性がないし、

自主性もない」「信仰心がないし、目上の人を敬わないようだ」

返ってきた返事に、「よくみているなあ……」と当クラブ員も感心しきりでした。

你好 台湾

市内中学生台湾派遣研修に同行して

○蒲郡市教育文化振興会による中学生的海外派遣は、昭和60年度に始まり、今年度で8回目になります。

○1、2回目は韓国で、台湾は今回で6回目となります。

○本年度は、中部中の足立校長を団長とし、男子生徒10名、女子8名、引率の先生方4名の計23名で訪華友好団を結成しました。

○9月24日(木)～27日(日)の日程で、台北市の陽明国民中学校を訪問、当地のライオンズクラブの家庭で1泊のホームステイを行いました。

○当クラブから、L深津、L鈴木光、L平野の3名が同行しました。L平野のレポートです。

「9月24日、市役所での出発式を終え、アジア航空283便 名古屋発11時15分に搭乗。おそらく飛行機は初めての生徒達。急上昇する飛行機の機内では、生徒達の、まるでジェットコースターに乗っている様な『ウォー』という歓声で訪華が始まった。

無事台北へ着く。空港へは、いつもお世話になっている光明ライオンズクラブのメンバーの皆さん、ボーイスカウトの人たちの出迎え。専用バスにて台北市内見学。夕方のウェルカムパーティーにはホームステイ先の家族の方々も出席。楽しく歓談。

翌9月25日、台北市立陽明国民中学校を訪問。交歓会では、初めもじもじしていた生徒達も、帰り近くにはすっかり馴染み、友好の目的を達成する。

9月26日、市内をバスにて見学後、ホームステイの家庭に入る。

9月24日～27日、三泊四日の行程も何事もなく無事終了。このようにスムーズに運営できたのも光明ライオンズクラブの皆様のおかげ。感謝感謝。

なお来年2月には、陽明中学の生徒達が訪日する予定です。我々も全力を出して歓迎に協力しなければならない。

《お知らせ》 つつじ寮生と交流の夕べ

平成4年12月13日(日)、当クラブ主催で『つつじ寮生とのつどい』をもちます。

第1部 チャリティーバザー 14:30～16:30 場所:市民会館大会議室

寮生の作品、当クラブメンバー、ボランティアグループ他の方々の持寄品の販売

第2部 つつじ寮生との夕食会 17:00～19:00 場所:市民会館東ホール

収益金の贈呈、アトラクションとしてコーラス、カラオケ、手品、ゲーム等あり

詳細についてはいずれ広報しますが、市民の皆様の第1部へのご参加、ご協力をお願いします。



台北中正空港にて記念撮影





No. 3 (新春号)

発行日 平成5年1月8日
発行 蒲郡マリンライオンズクラブ
編集 同上 PR委員会
事務局 蒲郡市港町 商工会議所3F
TEL 68-1100 FAX 69-2200

明けまして おめでとうございます

輝かしい新年を迎え、市民の皆さんのご多幸と、私たちのふる里蒲郡の一層の発展をお祈りします。

さて、「マリンレポートNo.3(新春号)」を届けますが今号の内容は次のとおりあります。みなさんのご愛読と蒲郡マリンライオンズクラブへのご支援、ご協力をお願いします。

- チャリティバザーとつじ寮生との交流会の報告
- 第4回市民文化講演会の案内
- 12月市議会の傍聴レポート。(放談部会)
- 銀婚会員おめでとう。(12月例会にて)
- 祝優勝(月例ゴルフ部会報告)

大盛況! 大成功!

チャリティバザーとつじ寮生との交流会

【チャリティバザー】

当ライオンズクラブが、12月13日(日)、市民会館の大会議室で行ったチャリティバザーは、開場前から300人を超える皆さんのが列をつくるほどの賑わいでした。

クラブ会員は勿論、多くの市民のみなさんから提供をいただいた2,000点の品物の山も、1時間ちょっとの間になくなってしまうほどでした。

とくに、女性のボランティアの方々には品物の値決めなど、前日からのお手伝いと、当日には売り子になって下さるなど、ご協力に感謝いたします。

ちなみに売上金は506,925円にのぼりつつじ寮の運営資金に寄託されました。

みなさんのご厚意に厚くお礼を申し上げます。
ありがとうございました。



チャリティバザーのにぎわい

【つじ寮生との交流会】

浅井助役、平松副議長、鈴木県議などの来賓を迎えての交流会は、市民会館東ホールにおいて、寮生の入場、歓迎のコーラスで開幕しました。参加者は寮生50人と家族、寮の職員の方々、ボランティアの6団体と、当クラブの会員等々で、300人ほどでした。チャリティの収益金506,925円を市川直会長がつじ寮前川所長に贈呈。その後の寮生のお礼の言葉は、感動的で会場の皆さん耳目を集めました。

交流会は「蒲郡女声コーラス」の皆さんのが歌と会場全員の合唱、「蒲郡マジッククラブ」の会長の手品、そして飛び入りで出演してくれた「蒲郡手話サークル かざぐるま」の若い皆さんの手話合唱と、その指導もあり、寮生たちもたいへん喜んでおりました。このふれ合いを、これからも大切にしていきたいと思います。



お茶の間の人気文芸作家 平岩弓枝さん 来演

27才の若さで直木賞を受け文壇にデビューした作家平岩弓枝さんを招き、第4回市民文化講演会を次の通り開催いたします。

当クラブが主催する文化講演会は回を重ねる毎に好評を得ていますが、今回は、昨年度実施のライオンズクラブに対する市民アンケートの集計結果で、ベスト20に入っている平岩弓枝さんを選定し交渉しました。市民の皆さん方の聴講を歓迎します。

なお、参加希望の方は入場整理券(無料)を求めて来場されますようお願い申し上げます。

- | | |
|--|---|
| 1. とき | 平成5年2月26日(金) 午後1時(開場) 午後1時30分(開演) |
| 2. ところ | 蒲郡市民会館 中ホール |
| 3. 講師とテーマ | 作家 平岩弓枝氏 「史実と小説」 |
| 4. 主催 | 蒲郡マリンライオンズクラブ |
| 5. 共催 | 蒲郡市教育委員会 |
| 6. 講師のプロフィール | |
| ◇作家歴 昭和7年東京都生まれ。長谷川伸に師事。直木賞をはじめ、NHK放送文化賞吉川英治文学賞等を受賞。現在、日本文芸家協会理事、直木賞審査員。 | |
| ◇主な作品 | |
| ・小説 藩師(たがねし)、女の顔、下町の女、御宿かわせみシリーズ花影の花、色のない地図、他 | |
| ・TV脚本 旅路、肝っ玉母さん、女と味噌汁、他 | |
| ・戯曲 明治の女、春雷、お市と三姉妹、他 | |
| 7. 入場整理券の配布先 | <ul style="list-style-type: none"> ・市教育委員会社会教育課(市役所6F) ・市民会館・市立図書館・市内各書店 ・最寄りの蒲郡マリンライオンズクラブ会員宅 |

放談部会が市議会を傍聴

『生涯学習』でL.竹内 健が質問

当クラブの趣味部会の1つである放談部会が初の試みとして12月市議会の傍聴を行いました。

12月8日、会員19名が傍聴手続きをすませて午前10時に議場へ入りました。大場蒲郡市長の12月議会開会の挨拶に続いて一般質問に移り、小林康宏議員が「名豊道路蒲郡バイパス」について、その後メンバーであるL.竹内 健が「生涯学習」について質問を実施しました。

急速な時代の進歩と生活様式の変化に対応し自己の充実向上と住みよいまちづくりをめざす生涯学習花盛りの今日ですが、その必要性、重要性を強調し、国、市の取り組み状況をふまえ、さらに議員活動を通じてハード行政からソフト行政へと転換を願う自分の心境を開陳しました。そして主に

1. 市民の生涯学習に対する理解度、必要度は?
 2. 市が関連する、生涯学習の現状と問題点
 3. 今後の生涯学習の推進構想とそれに対する公民館活動のあり方
- 等について迫力ある質問を展開し市長、教育長の答弁を求めました。

ユニークな活動をする放談部会にとって、彩りを添える意義ある行事となりました。

銀婚おめでとう 8組のライオン夫妻

会員中、次の8組夫妻が本年銀婚式を迎え、12月23日行われたクリスマス例会の席上、花束を贈られ祝福を受けました。

いっそうの夫婦円満、ご家庭の発展をお祈りします。

おめでとうございました。

- | |
|---------------------------------|
| L. 鈴木 修身 愛惠 様 (昭和42年3月26日 結婚) |
| L. 山口 正 智子 様 (昭和42年3月26日 結婚) |
| L. 大場 榎暉宏 恵津子 様 (昭和42年3月26日 結婚) |
| L. 小田 倉平 逸子 様 (昭和42年3月26日 結婚) |
| L. 鈴木 孟 八重子 様 (昭和42年3月29日 結婚) |
| L. 高林 功 藤子 様 (昭和42年4月18日 結婚) |
| L. 榎本 尚史 幸子 様 (昭和42年5月13日 結婚) |
| L. 関原 健一 ますみ 様 (昭和42年10月26日 結婚) |



祝福された8組夫妻

◆祝優勝 月例ゴルフ部会報告

10月 L.市川直(ネット71.4) 11月 L.石川杉夫(〃68) 12月 L.山本孝(〃72)



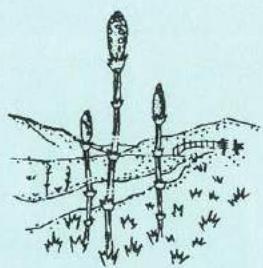
No. 4 (早春号)

発行日 平成5年3月22日(月)
発行 蒲郡マリンライオンズクラブ
編集 同上 P R 委員会
事務局 蒲郡市港町 商工会議所内3F
TEL 68-1100
FAX 69-2200

躍動の春がきました！

日ごとに暖かさを増し、山や野に春の息吹が感じられます。
躍動の状況を次の内容でお知らせします。

- 飯田赤石ライオンズクラブと蒲郡マリンライオンズクラブとの姉妹提携の動き
- 台北市光明国際ライオンズクラブ親善訪問団の歓迎行事の報告
- 第4回市民文化講演会の講演レポート
- 本クラブ創立5周年記念大会委員長の抱負



山と海の姉妹提携

3月24日に飯田市へ赴き調印の運び

中部山岳地帯にある飯田赤石ライオンズクラブと太平洋ベルト地帯にある当クラブとが山と海の姉妹提携先をお互いに探し求めていたところ、双方の気持ちが相通じてご縁ができ、来る3月24日(木)、蒲郡マリンライオンズクラブの全員がバス2台を連ねて飯田市へ行き、飯田赤石ライオンズクラブとの合同例会を開催、その席上姉妹提携の調印をすることになった。今日までの経過は次のとおりである。

- 1月14日 飯田赤石ライオンズクラブの姉妹提携委員長L. 小國英彦以下7名が来蒲、当クラブ代表と協議。
 - 2月5日 当クラブ姉妹提携委員長L. 鈴木靖夫以下7名が飯田赤石ライオンズクラブを訪問協議。その後、双方のクラブが理事会・例会にはかり姉妹提携の進行を承認し、現在に至る。
- なお、飯田赤石ライオンズクラブは、会長L. 原潜、会員数66名、平成3年6月創立の意欲に燃える若いライオンズクラブである。

台北市光明国際ライオンズクラブ親善団が来蒲 子弟8名が市内でホームステイ

市内中学生代表が毎年、国際親善と海外研修をかね台湾を訪問しているが、その際の歓迎やホームステイの世話をしているのが台北市光明国際ライオンズクラブである。

去る1月31日(日)台北市光明国際ライオンズクラブの親善団一行(団長L. 高 清旭 団員34名 内訳 L.会員12名、家族14名、子弟8名)が旅程の途中、蒲郡市を表敬訪問されたので、市教育文化振興会、蒲郡ライオンズクラブ、蒲郡マリンライオンズクラブの3団体が共催して歓迎行事を実施した。前日の1月30日、名古屋市内で一泊した一行は、31日、同市の見学を終え午後3時、バスにて蒲郡市民会館へ到着した。早速ロビーにて昨年訪台した本市中学生メンバーと子弟8名とが再会、家



歓迎の言葉を述べる市川会長

族を交えて懐しい歓談を行った。午後5時からの歓迎行事には、会場の市民会館に200名余の関係者が集まり、本クラブ会長L. 市川直の歓迎の言葉で始まり、祝辞を大場蒲郡市長、小田市議会議長、松井市教育文化振興会理事長の3氏が述べた後、一行に蒲郡市と両ライオンズクラブからの記念品を贈った。

これに対して、台北市光明国際ライオンズクラブの会長L. 高 清旭団長からお礼の言葉と記念品が主催者ならびに来賓各位に贈呈された。

歓迎式典終了後、市民会館東ホールにおいて懇親パーティを行い、出席者は相互に親善交歓を深めた。台北の子弟8名は、昨秋子女が中学生代表として訪台をした市内の3家庭へ分かれ心温まるホームステイをした。

なお、一行は翌2月1日(月)当ライオンズクラブYE委員の見送りをうけ、次の目的地である山梨県へ出発した。

今回のアクトで心残りだったのは、懇親会に光明国際ライオンズクラブの子弟と市内の中学生代表が参加できなかったことである。YE活動の中心はあくまで青少年で、次回このようなアクトがあるときは、青少年を交えた交流ができるよう望みたい。次の訪問地へ出発する一行の中にホームステイ先の家族と別れを惜しみながら涙を流している少女を見たとき、短い時間ではあったが言葉の壁をこえ、真に向かい合えば心が通じることを身をもって体験してくれたと、改めて国際交流の意義、YE活動の重要さを痛感した。

(YE委員長 L. 夏目憲行記)

平岩弓枝先生 出会いと人生観について熱演

聴衆750名に深い感動を与えられる

本クラブ主催の第4回市民文化講演会は、創立例会記念日に当たる2月26日(金)の午後1時30分から市民会館中ホールにおいて行われた。定員を越し会場から溢れた聴衆は、やむをえず、ロビーに用意したモニターテレビで静聴する盛況であった。

担当委員長L. 本多の司会により会長L. 市川直の挨拶と講師紹介があり講演に入った。

平岩講師は、人生初の講演をした際、師匠であった故長谷川伸先生が細かい心づかいをしてくださったことと、小説家にとっては人とのふれ合いが財産であるといわれた言葉を引用し、小説「青の伝説」の主人公との不思議な出会いを切々と述べられた。

さらに、忠臣蔵の大石藏之助の妻「りく」を主人公にした作品をまとめるまでの苦労と体験を通して、歴史の中に埋もれている陰の人を発掘しつづけたいというご自分の人生観を語り聴衆に深い感銘を与えられた。

午後3時10分、幹事L. 大岩のお礼の言葉を持って無事終演した。



平岩先生講演情景

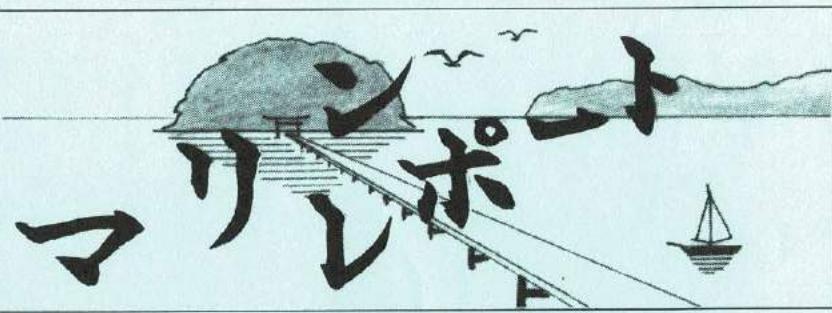
創立5周年記念大会委員長 抱負を開陳

1989年2月26日に結成し、同年5月7日、日本国内で2910番目のクラブとして認証されたわが蒲郡マリンライオンズクラブは、次年度(1993年7月~1994年6月)に創立5周年を迎える。

去る2月12日の例会において記念大会委員長をつとめるL. 深津六郎は、その抱負を次のように語った。

- 膨大な予算を要する事業であり、無駄使いをさけ、みんなの知恵と汗で奉仕し、クラブの活性化をはかりたい。
- 記念事業は遅くとも、1994年3月までにエネルギーを出しつくしたい。
- 記念事業取り組みの組織と、1993年度のクラブ運営の組織とを上手にかみ合わせて、その活動効果をあげたい。
- 大会副委員長に次の6Lをお願いしたい。

L. 鳴田栄治 L. 野口長務 L. 河井勤 L. 滝澤巖 L. 橋本尚史 L. 大原義政



No. 5 (緑風号)

発行日 平成5年5月14日(金)
発行 蒲郡マリンライオンズクラブ
編集 同上 PR委員会
事務局 蒲郡市港町 商工会議所内3F
TEL 68-1100 FAX 69-2200

月例会数が100をオーバー 新年度に向けてスタンバイ

わが蒲郡マリンライオンズクラブは、平成元年2月26日に結成例会を開き、以来月2回のペースで例会をもち平成5年4月23日をもって100回目の例会を迎えることができた。

例会回数が100の大台を越えるとともに7月からは新しい年度に入るわけであるが、いよいよ、そのスタートのスタンバイがととのった。

新年度の役員と委員会組織が決定

<役員>

会長	市川伊嗣	二年理事	福沢君夫
前会長	市川直	リ	吉見敏夫
第1副会长	永田武満	リ	市川貞夫
第2副会长	嶋田栄治	リ	石田敬二郎
第3副会长	大原義政	リ	大岩政寛
幹事会計	山本四十三	一年理事	小田幸一郎
ライオンテーマー	加藤寿則	リ	竹尾喜一郎
テールツイスター	小田二郎	リ	夏目光行
会員理事	鈴木利夫	リ	夏目憲
副幹事会計	鈴木殖夫	正敏	
副ライオンテーマー		鈴木勝広	
副テールツイスター		水野雄二	
会計監査	大岩政寛	近藤洸光	



新会長：市川伊嗣

<委員会の正副委員長：○正 ○副>

運営関係

会員	○鈴木殖夫	○市川直
指導力育成	○鈴木敏夫	○野田孝道
計画	○市川貞夫	○小田二郎
姉妹提携	○鈴木靖夫	○大竹敏
大会則	○鈴木修身	○水野雄二
財務	○森桂吾	○山田金弥
出席報	○大岩敏郎	○三浦雅敏
P R	○大場貴之	○市川寛
	○石田敬二	○味岡正
	○鈴木孟	○岡田光男 ○鈴木良朗

事業関係

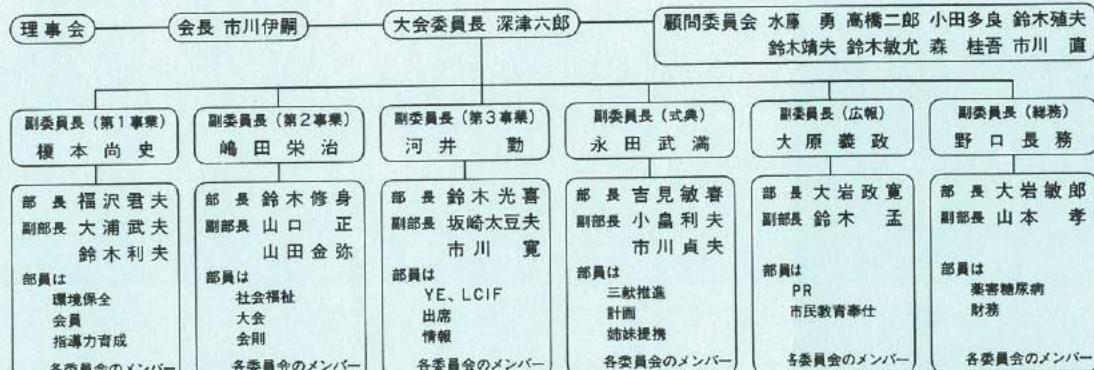
公衆安全	○福沢君夫	○大浦武夫
環境保全	○小畠利夫	○鈴木勝広
三献推進	○山口正	○徳永由也
社会福祉	○山本孝	○平野優
薬害糖尿病	○鈴木光喜	○坂崎太夫
YE、LCIF	○大岩政寛	○夏目勝美
市民教育奉仕		

なお、新年度（平成5年7月～平成6年6月）は創立5周年の記念すべき時に当たるので、記念事業を積極的に展開するためのスローガンと組織（右ページ参照）を次のように決めた。

スローガン 5周年！ まごころを地域へプレゼント

記念事業活動組織

全体を6部門に分け、クラブの委員会ごとに分担活動をするようにした。
系統図は下表のとおりである。



いずれ、記念事業計画が決定次第広報する予定であるが、市民ならびに関係の皆様方のご理解とご協力をお願いするものである。

姉妹提携締結書とバナーを交換

原(飯田赤石LC) 市川(本LC)両会長が力強い握手

蒲郡マリンライオンズクラブの会員72名は、飯田赤石ライオンズクラブと姉妹提携締結のため、3月24日(水)午前8時30分市民体育センター駐車場に集合、バス2台を連ねて飯田市へ出発した。

午前11時30分、両クラブの合同例会場である飯田市神明閣に到着。直ちに3階ホールにおいて例会ならびに姉妹提携式を実施した。

開会ゴング、国旗、ライオンズ旗へ礼、物故会員ならびに献眼・献腎者の靈に黙禱、来賓・役員紹介の後、経過報告を飯田赤石LC姉妹提携委員長 L. 小國英彦が、歓迎の辞を会長 L. 原潜が述べた。これに対し本クラブ会長 L. 市川直は

- ①山と海のクラブ提携で両市は赤石山脈でつながっている。
- ②りんごとみかんの里同士で日本の代表的果物のまちの友好である。
- ③三遠南信トライアングル構想を先取りした広域的提携である。

と3つの意義を強調する挨拶をし、両クラブ会長による締結書とバナーの交換を行った。

その後、334-E地区のガバナーの祝辞、334-A地区のガバナーはじめリジョン、ゾーンチェアマンのメッセージ、飯田、蒲郡兩市長の祝電が読み上げられた。

提携記念合同アクティビティを当クラブ姉妹提携委員長 L. 鈴木靖夫が発表し、次に両クラブ会長からオイスカ飯田支局、蒲郡支局へ基金寄贈目録が贈られた。さらに例会としての幹事報告をすませ無事、合同例会ならびに姉妹提携式を終了した。

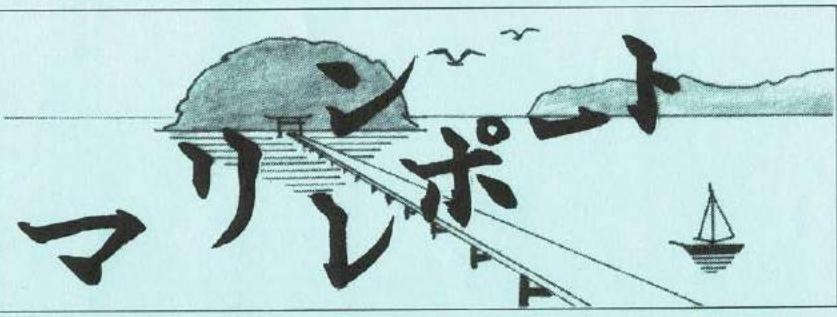
続いて、会場を神明閣5階の大広間に移し、両クラブ合同の祝賀会を挙行、会員間の親睦を深めた。祝舞、天龍太鼓の祝儀アトラクションがあり、「また会う日まで」を手をつないで合唱。再会を誓い名残を惜しみつつ午後3時30分帰途についた。きめ細かく温かい心のこもった歓迎をされた飯田赤石ライオンズクラブのみなさん方に厚く感謝を申し上げる次第である。



原、市川両会長の堅い握手

アクティビティ報告（各事業への協賛と助成）

- 青年会議所主催：生涯学習フォーラム 4月23日・市民会館中ホール
- オイスカ蒲郡支局主催：海外研修生激励、グリーンキャンペーン市民の集い 4月29日・市民会館東ホール
- 蒲郡市柔道会主催：全三河中学校柔道蒲郡大会 5月2日・市武道場
- 青年会議所主催：わんぱく相撲蒲郡大会 6月6日・市体育センター



No. 6 (躍進号)

発行日 平成5年7月25日(日)
 発行 蒲郡マリンライオンズクラブ
 編集 同上 P R 委員会
 事務局 蒲郡市港町 商工会議所内3F
 TEL 68-1100
 FAX 69-2200

5周年！ まごころを地域へプレゼント 創立の感激を忘れず 奉仕活動に汗を

私たちの蒲郡マリンライオンズクラブにとって今年度（平成5年7月～平成6年6月）は創立5周年の記念すべき年に当たります。本号は記念事業に対する考え方、予定アクトの概要について特集しました。ぜひ、市民のみなさんの積極的な参加とご協力をお願ひいたします。

記念事業を成功させよう

蒲郡マリンLC会長 L市川伊嗣

当クラブも創立5周年を迎えることが出来、メンバー各位の努力と市民のみなさん方のクラブに対するご理解を感謝申し上げます。『5周年！ まごころを地域へプレゼント』のスローガンのもとに、各委員会、各事業部会のすばらしい事業計画がまとまり、今やスタートの万端がととのいました。ところで、昨今、益々国際的な視野に立っての奉仕が要請されていますが、今年度のスローガンのように、やはり地元蒲郡に密着した奉仕こそ優先されるべきだと思います。私たちはこのような年を節目に「明るいまち、住みよいまちづくり」のお手伝いをして参りたいと思いますので、市民のみなさん方の温かいご支援とご理解を心からお願い申し上げます。

記念事業のスタートに当たって

5周年記念事業大会委員長 L深津六郎

今年度 334-A地区のスローガンである「奉仕に愛を 運営に和を」をうけて、CN5周年記念の我がクラブは『5周年！ まごころを地域へプレゼント』とスローガンを高く掲げて、各部会は記念事業を綿密に立案され一部では実行の段階に入りました。

私はCN記念事業を華麗なモニュメントやセレモニーにするのではなく、また、5周年を迎えるから行うというのでもなく、今後10周年、15周年に向かって、クラブ運営にプラスになるような進め方が出来たら大成功だと思います。ライオンズクラブの活動の基本は、時間と労力であります。CN5周年記念事業に向けて、メンバー全員で汗を流すことが、ライオニズムの高揚につながります。クラブのさらなる飛躍を期し、市民のみなさんのご理解とご協力を切にお願いします。

記念アクティビティ発進 第1号

市生きがいセンターへ

生涯学習備品を寄贈

5周年記念事業の第1号は、この4月オープンした蒲郡市生きがいセンターへのCDアンプー式ならびに名曲CD盤セット（75枚）の寄贈を行いました。

7月12日(火) 午前10時、会長L.市川伊嗣、大会委員長L.深津六郎他クラブ代表が市役所を訪ね、市長室において大場市長に直接目録と現物を贈りました。教材備品として生涯学習に活用されるよう期待してやみません。



CDアンプー式等の贈呈

記念事業活動プランの紹介

第1事業部会 美しい環境をプレゼント

蒲郡市は年間600万人の観光客を来ます。このすばらしい郷土蒲郡と美しい三河湾を保全するための積極的活動を進めてまいります。

1. "ゴミの持ち帰り運動" 啓蒙のため小中学生のポスター、標語の募集 優秀作品の展示と表彰 11月13日(土) 市民会館で行う
2. "ゴミの持ち帰り運動" の啓蒙看板の設置 竹島園地及び西浦温泉駐車場付近に11月21日(日)、ならびにクリーン作戦の実施
3. 新設の蒲郡市保健センターへの記念植樹 (市の木クス他) 平成6年3月11日(金) 実施

第2事業部会 福祉の心をプレゼント

1. オープンした蒲郡市生きがいセンターへCDプレイヤーと名曲CD盤75枚の寄贈 7月12日(月) 実施 詳細別掲
2. 姉妹提携した飯田赤石LCと協力して飯田市の社会福祉施設へ蒲郡ハウスみかんを贈呈 8月5日(木)に実施
3. 会員ユニホームの調製

第3事業部会 青少年に海外交流のプレゼント

1. 市内中高生7名をアメリカイリノイキャンプに派遣 7月25日より2週間の予定 詳細別掲
2. 青少年団体の育成支援

式典部会 手づくりとまごころの記念式典を

1. 記念式典は平成6年4月9日(土) 市民会館東ホールで開催 式典、祝宴は会員、会員夫人(ライオネス)および継続育成アクトをしているボーイスカウト・ガールスカウトの協力を得て実施の予定。

総務部会 記念事業の潤滑油の役割を

1. 記念事業の運営全般の世話
2. 各事業部会の予算のまとめ等

記念アクティビティ発進 第2号

アメリカイリノイキャンプへ中高生を派遣

このたび、アメリカアトランタ州から来蒲した中、高生4名（形原地区にホームステイし形原中学校で交歓学習）と当クラブが創立5周年を記念してアメリカイリノイ州へ派遣する中、高生7名の歓送迎会は、去る6月29日(火)夕刻、蒲郡荘において関係者約50名が参加して行われた。

派遣する生徒とスケジュールは次のとおりである。

なお、この事業については、形原中学校長山下久夫先生に特別のお世話をいただいていることを付記したい。

派遣生徒

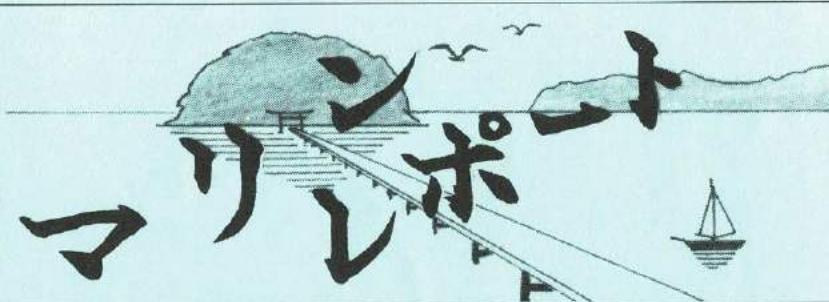
参加者名	学年	保護者名
岩瀬信子	中学2年	雅史
近藤理絵	高校1年	一夫
近藤亞樹	高校1年	導夫
小林洋子	高校2年	坂三
山本珠緒	高校1年	四十三
鈴木香奈子	高校3年	良朗
夏目志保	高校2年	憲行



アメリカへ派遣する中、高生7名

スケジュール

- 7月25日(日) 成田よりアメリカに向け出発。ホームベース イリノイ州エヴァンストン市、
 第1週 エヴァンストン、シカゴおよびノースショア（ミシガン湖岸北部地域）を実踏学習
 ノースエスタン大学、エヴァンストンビーチ、シカゴ市ダウンタウン、フィールド博物館等
 第2週 スプリングフィールド、リンカーンの家、州議事堂、ニューセイラム村。マークトウェイ
 ンの町ハンニバル、洞窟やミシシッピ川リバーポートなど
 8月7日(土) 帰国の途に 帰国は8月8日(日)



No. 7 (中秋号)

発行日 平成5年10月8日(金)
発行 蒲郡マリンライオンズクラブ
編集 同上 PR委員会
事務局 蒲郡市港町 商工会議所内3F
TEL 68-1100 FAX 69-2200

不景気をぶつとばそう 明るい心の毎日を

平成不況は、円高、冷夏が追い打ちをかけ戦後最悪という予測が本物となりつつあります。病も、景気も俗に“気”からと言います。お互いにせめて気持ちだけは明るく持ち続け毎日の生活を送りたいものです。本号は創立5周年記念事業の今後の予定と実施報告を特集しました。ぜひ、市民のみなさんの積極的な参加とご協力を願っています。

橋田 壽賀子講演会は 11月13日

早めに入場整理券をどうぞ

本クラブ主催第5回市民文化講演会を右記のとおり行います。既にポスター、ちらし等で広報中ですが、参加希望の方は、早めに入場整理券を入手下さい。

とき：11月13日(土)午後1時開場、1時30分開演
ところ：蒲郡市民会館大ホール
テーマ：ドラマの中の女たち
入手先：図書館・市民会館・市教委社会教育課他

『ゴミの持ち帰り運動』を進めよう ポスター、標語の応募総数 1290点

自然環境を守る啓蒙運動の一環として、市内20の小中学校の児童生徒さんに夏休みの課題として上記ポスターと標語を募集したところ、ポスター573点、標語717点、心のこもった作品の応募がありました。ご協力ありがとうございました。

賞はポスター、標語各部門 知事賞、市長賞、ライオンズクラブ会長賞各1名、入選10名、佳作30名となっております。

優秀作品の発表、表彰は次の通りになります。

○発表展示 日時：11月13日(土) 正午 市民会館大ホールロビー

○表彰 彰 日時：11月13日(土) 午後1時 市民会館大ホール (市民文化講演会直前)

尚、上記優秀作品を参考に自然環境を守る啓蒙看板を、竹島園地及び西浦温泉駐車場付近に設置し、11月21日(日)クリーン作戦の実施を計画いたしております。

冷夏にアクトの汗 —順調に進む5周年事業報告—

アクト第2号

飯田市の社会福祉施設に

蒲郡のハウスみかんをプレゼント

「福祉の心をプレゼント」を活動テーマに掲げる第2事業部会が中心になり、8月5日(木)、姉妹提携クラブを通じ友好関係にある長野県飯田市の社会福祉施設20ヶ所に対し、蒲郡名産のハウスみかんの贈呈を行った。



代表者に蒲郡みかんを贈呈する市川会長

この日、市川伊嗣会長以下11名の会員は、4台の車にハウスみかん80箱(500パック)を積み込み、午前10時40分飯田市へ到着、姉妹クラブ飯田赤石の滝沢会長以下7名の出迎えと案内を受け、田中秀典飯田市長を表敬訪問し、大場蒲郡市長からのメッセージを伝達するとともに、寄贈目録とハウスみかん一箱を市長に贈った。

市長室にて懇談の後、一行は20社会福祉施設の代表である飯伊特別養護老人ホームと児童養護施設風越寮の2つに分かれて慰問、みかんを老人や子供たちに手渡した。飯田荘では、牧田所長から「おやつにみなさん方のご厚情を貢献させていただきます」と感謝の言葉があり、一同身をもって善意活動の喜びを体感した。なお、他の18施設には時間の関係から飯田赤石ライオンズクラブのメンバーが代行し寄贈を担当していただいた。

アクト第3号 イリノイホームキャンプ派遣中高生の体験報告

7月25日～8月8日まで米アトランタ州へ派遣した中・高生7名の体験感想発表が8月9日(月)の第107回例会で行われたのでまとめてみました。この貴重な体験をもとに国際感覚が磨かれ、ワールドワイドな視野がより広がることを望みます。なお、形原中学校山下久夫校長先生に大変お世話をいただいたことを付記します。

生活、文化の印象

- 米国の食事、予想どおり肉料理が多い。
- 物価は驚くほどやすい。たとえばガソリンは日本の1/4、CDや菓子類等は1/2。
- 道を挟んだ隣人が家の前で集まってパーティーをしている。
- 子供たちは広い道路で自転車やローラースケートを楽しんでいる。
- 用心深いはずの米国人とスーパーへ買い物に行った際、車に施錠しなかったのには驚かされた。
- 宗教上の理由で聖書通りの生活をしており、電気や自動車を使わない昔の人のような生活を実際にしている人達(アーミッシュ)をこの目で実感した。

ライオンズクラブ国際本部前の派遣生徒

- 米国の家は、外見はベンション風、ゆったり広く、隣との仕切りはない。どの家も前にも後ろにも庭がある。又、地下室もあり、涼しく、昼寝をするにも快適。
- 家中靴で歩きまわることが出来たことが印象に残る。

現地での学習

- イングリッシュレッスンの感想について
単純な質疑応答が中心だったので順番に良く解るようになったが、私が英語を使ったのは、このレッスンの時だけだったので、もっと英語を使えば良かった。
- アルバムづくりと英文日記について
毎日英文日記を書くことで少しづつ英語に馴れる事ができた。アルバムづくりは最後の2日間で殆ど仕上げたが、帰国してから、アルバムがあつても良かった。

アクト第4号

「愛の献血」220名

ありがとうございました

9月5日(日) 市民体育センターを中心に蒲郡市民健康祭りが行われました。当クラブからは三献推進委員が「愛の献血コーナー」を担当し協力をいたしました。

10時30分頃には「愛の献血コーナー」は満員で献血バスに乗るための順番待ちの列ができていました。市民の協力者は220名の多さを数えましたが、参加者の中には400ccの献血を行った方もみえ、目標献血量を上回り成功裡に終了できました。これも市民の皆様のおかげと厚く御礼を申しあげます。

蒲郡市子ども会へ

優勝旗を贈ろう

このたび、蒲郡市子ども会連絡協議会からスポーツ大会の優勝旗が老朽化したため本クラブに対し寄贈方の申し出がありました。

9月理事会にて審議、10月例会で承認の予定ですが、優勝旗のあらましは

- ・タテ70cm×ヨコ100cm
- ・西陣別織京錦地、金モール付き
- ・男子（ソフトボール）は紫地
- ・女子（ドッジボール）は赤地
- ・付属品、旗竿、スタンド、ケース等

以上のとおりであります。



No. 8 (霜冬号)

発行日 平成5年12月23日(木)
発行 蒲郡マリンライオンズクラブ
編集 同上 PR委員会
事務局 蒲郡市港町 商工会議所内3F
TEL 68-1100 FAX 69-2200

山場をクリアした 創立5周年記念事業

会長 L.市川伊嗣
記念事業大会委員長 L.深津六郎

市民のみなさんのご協力と、クラブ会員の努力によって、我がクラブの創立5周年記念事業はまさに、最大の山場を越した感がいたします。即ち、橋田壽賀子講師を迎えた市民文化講演会の大盛況。「ゴミ持ち帰り運動」を進める小、中学生によるポスター、標語の応募。優秀作品の展示と表彰。さらに西浦、竹島園地への広報モニュメントの設置等の実践活動は、各方面から大きな評価をいただきました。

今後は、来年4月9日に開催する記念式典をめざし、クラブの総力を結集して参りますので、関係のみなさんのお力添えを心からお願いいたします。

□不況もものかわ 着実に進む5周年記念事業報告□

<アクト第5号> 2300名の聴衆を集めた大盛況の市民文化講演会

本クラブ主催第5回市民文化講演会は11月13日(土)、市民会館大ホールに橋田壽賀子講師を迎えて実施したが、あいにくの悪天候にもかかわらず約2300名の聴衆が大ホールを埋めつくした。

『ドラマの中の女たち』という演題を通して橋田先生は、学生時代から脚本を書くことが好きで、各誌に応募したり売り込みの苦労をしたこと。テレビプロデューサーの石井ふく子さんとの出会い。40歳で結婚したこと。嫁・姑の考え方の違いや夫の立場や仕事の大変さを知ること等により、良いホームドラマを書くことができるようになったと語られた。

また、テレビドラマを作るにあたって、一般からの投書や人生相談を参考にしていることや、タレントの選考方法、タレントにまつわる裏話を紹介され興味深く聞くことができた。

先生は、ドラマの中でいろいろな人の生き方が演出できたのは大変幸せであったとのこと。これからも良いドラマを書きたいと約束し講演を結ばれた。1時間半の充実と感動の講演会であった。

参加者に終了後アンケートを求めたところ、多くの方より貴重な意見をいただくことができありがとうございました。結果については下記のとおりです。

市民文化講演会アンケート結果 95%は有意義と回答

- 市民文化講演会を知ったのは 「友人から」と答えた方が35%と多く、これは女性の人が多いせいでの友達を説いて参加する特有の傾向によるものと思われる。
- 本クラブによる文化講演会の認知度 知っているかたが60%を超え、5年間の努力がやっと実ってきた。
- 講演会開催の時間帯は 土曜日の午後が66%と断然多く今後もこの線で臨みたい。
- 次回希望の講師は 高得点順に並べると以下のとおり。次の参考にしたい。
久米 宏、黒柳徹子、ミヤコ蝶々、北野 大、星野仙一、瀬戸内寂聴、中村メイコ、山田 昌
- 本日の感想は 95%の方が有意義と答えられ、主催者側としても満足のいく結果でした。
- その他お気づきの点は 貴重な意見が数々あり、今後の参考としたい。



熱弁をふるわれる橋田講師

<アクト第6号>美しい蒲郡をめざして ゴミは自分で持ち帰りましょう

1. ポスター、標語優秀作品決まる

自然環境を守る啓蒙運動の一環として、市内20の小中学校の児童生徒さんに夏休みの課題をかねて上記ポスターと標語を募集したところ、ポスター573点、標語717点という多数の、心のこもった作品の応募がありました。優秀作品は下記のとおりです。

○ポスター部門	知事賞	蒲南小1年 石川貴一君
	市長賞	中部中3年 柴田康子さん
	ライオンズクラブ会長賞	蒲南小6年 平野佳代子さん
○標語各部門	知事賞	西浦中1年 壁谷晋史君
	市長賞	蒲南小4年 酒井智江さん
	ライオンズクラブ会長賞	塩津小1年 山本竜馬君

優秀作品の発表、表彰は市民文化講演会に先立ち、11月13日(土)、市民会館大ホールで行いました。応募していただいた作品は、どれも力作ばかりありがとうございました。

2. 記念モニュメント完成



記念モニュメントの除幕式

<アクト第7号>

災害地のみなさんへ 義援金をカンパ

平成5年は大災害の年でもありました。被災地の皆さんは師走を迎え、難渋しておられると思いますが、蒲郡マリンライオンズクラブでは、本部を通じ見舞金を次のように拠出しました。皆さんの元気な立ち直りを祈念します。

○奥尻島地震被害の皆さんへ

105,000円

○鹿児島大雨被害の皆さんへ

105,000円

<アクト第8号>

市子連へ優勝旗を贈呈

蒲郡市子ども会連絡協議会(会長 L.近藤洸光)の創立30周年記念式典は、11月13日(土)の午前10時より市民会館大ホールを会場にして行われました。

この席上、夏の子ども会スポーツ大会において男子ソフトボールの部で優勝した三谷東地区松原子ども会と、女子ドッジボールで優勝した塩津地区松原子ども会にそれぞれ本クラブ会長 L.市川と記念事業委員長のL.深津から優勝旗を贈呈しました。これに対し市子連会長から当クラブに対し感謝状が贈られました。

チャリティゴルフ大会 赤石LCに協賛、参加

姉妹提携を結んだ飯田赤石LC主催の視力ファーストキャンペーンゴルフ大会が、10月20日(木)、長野県のあららぎカントリークラブにて開催された。

姉妹クラブの要請もあり、当クラブからは、MLG部会が中心となり28名が、バス1台を貸し切り参加した。参加総数は約200名という盛大な大会で、飯田赤石LCのこのキャンペーンにかける熱意を感じた。

視力ファースト基金に参加者一人当たり2500円のドネーションが行われたとのこと。参加された皆さんごくろうさまでした。



No. 9 (CN5周年記念号)

発行日 平成6年3月25日(金)
発行 蒲郡マリンライオンズクラブ
編集 同上 PR委員会
事務局 蒲郡市港町 商工会議所内3F
TEL 68-1100
FAX 69-2200

花開く4月9日 創立5周年、着袴の祝典を開催

平成の年号とともに産む声を上げた、我が蒲郡マリンライオンズクラブは、本年2月28日をもって創立5周年を迎えた。

人間社会で言えば満5歳、まさに着袴の祝いに相当するわけであり、その記念大会を4月9日(土)午前11時30分より蒲郡市民会館東ホールにおいて開催する。当日は、334-A地区木村日出雄ガバナー、鈴木克昌蒲郡市長以下80名の来賓の他、スポンサークラブの蒲郡ライオンズクラブ、姉妹提携の飯田赤石ライオンズクラブの全メンバーをお招きして式典と祝宴をとり行うが、式典・祝宴の主なスケジュールは、次のとおりである。

式典

- ・オープニング(ハープ演奏)
- ・開会のゴング
- ・来賓、参加クラブ会員の紹介
- ・5周年大会委員長歓迎のことば
- ・クラブ会長挨拶
- ・5周年記念事業の発表
- ・来賓代表祝辞
- ・ロア
- ・閉会のゴング

祝宴

- ・開宴のことば
- ・祝辞
- ・ウイ・サーブ
- ・懇親、会食
- チャリティ抽選会——
- ・ロア
- ・閉宴のことば

なお、終了は午後2時の予定である。

なお、この佳き日のため、リジョン及びゾーンチェアマンからそれぞれ以下のようないいを頂戴しました。厚くお礼を申し上げます。

◆RCとZCよりのお祝いのことば



L. 花井 鎮

陽春の佳き日、蒲郡マリンライオンズクラブの皆様には、CN5周年を迎えられ、意義ある記念式典を厳粛かつ盛大に挙行され誠におめでとうございます。心からお祝い申しあげます。

貴クラブにおかれましては、結成以来、歴代会長始め会員の皆様の広範に亘る奉仕活動を展開され、なかでも記念事業の一つである市民文化講演会(橋田壽賀子先生)、環境問題の原点でもある「ごみの持ち帰り運動」の推進、中高生7名を海外交流のためアメリカイリノイキャンプ派遣等々、市民参加の数多くの意義のある奉仕活動を実施され地域の発展に貢献されると共に、ライオンズクラブの成果を高め、確固たる基盤を築かれました。

激動する世界情勢の中で、世界人類の幸福の為、ライオニズムの高揚が今こそ必要です。地域社会はもとより国際視野に立った奉仕活動を考えるべきであります。

ライオニズムは永遠の真理であり、崇高なる理想であります。5周年を一つの節として新たにライオニズムの高揚に精進されることが大切と存じます。

終りに皆様方が益々ご健勝で一層のご活躍をご祈念申しあげ、お祝いの言葉とします。

2R、2Z、ZC L. 藤 波 寛

春爛漫のこの佳き日、蒲郡マリンLCの皆様には、CN5周年を迎えられ、盛大なる式典を先ずもってお祝い申しあげます。

顧みますと、貴クラブの結成には私の所属・蒲郡LCが、最初のエクステンションとして、当時少々のお手伝いをさせて戴いて早や5年、歴代会長始め会員諸氏の絶ゆまぬ努力・精進により、地域社会に根づいた立派な数々のアクティビティをなされ、又特に近時国際親善、世界平和の貢献等々に優れた力を發揮し、今日の発展を築かれたことと推察します。

「九層の台は墨上より起り、千里の行も足下より始まる」との名句のことく、5年の基盤を新たに確として、10年、20年に向かってライオニズムの高揚に努め、貴クラブの益々の隆盛あらん事を心よりご祈念申しあげ祝辞といたします。



L. 藤波 寛

<アクト第9号>

新設の市保健医療センターへ 市の木、花を記念植樹

昨年3月にスタートした5周年記念事業アクトビティは、その都度本紙を通じて報告してきたが、その掉尾を飾るにふさわしいアクトとして、新設オープンの蒲郡市保健医療センター前面広場において、蒲郡市長代理の臨席を得て記念植樹を次のように行った。



記念植樹をするクラブ会員たち

実施日時：3月11日(金)午前11時

会場：蒲郡市浜町

蒲郡市保健医療センター広場

アクトの内容：会員全員が参加(例会をかねて)
植樹

- ・市の木 くす 高さ 7m 目通り周囲 1.5m
- ・市の花 つつじ 200本

記念碑の建設

- ・台石 坂本産自然石 110cm×120cm×80cm
- ・はめこみプレート 黒みかけ石 60cm×26cm×3cm

銘文

創立5周年
記念植樹
1994.3.11

贈 蒲郡マリンライオンズクラブ

新会員オリエンテーション

17名が参加

新入会員のためのオリエンテーションが2月7日、午後6時より商工会議所ホールにおいて開かれた。当日は17名の該当者が参加、情報委員長L. 石田敬二の司会で始まり指導力育成委員長L. 鈴木敏允、会長L. 市川伊嗣の挨拶の後以下の研修を実施した。

- ・ライオンズクラブの歌 3曲の練習 音楽講師 足立陽子さん
- ・ライオンズクラブとは、その精神と組織 元 ZC L. 鈴木殖夫
- ・ライオンズクラブの用語解説 第3副会長 L. 大原義政

以上の指導の後、和やかな質疑応答と意見交換が行われ、指導力育成副委員長L. 野田孝道の結びの言葉があり8時30分閉会した。

78歳の快挙！

おめでとうございます

L. 市川 弘が博士号を取得

本年78歳を迎える会員L. 市川弘(形原町在住、歯科医)がこのたび、母校の日本歯科大学から博士号を授与された。

研究論文は下顎枝矢状分割法による下顎頭の位置変化……軸方向頭部X線規格写真による距離計測……というテーマである。60才の春、向学研究心に燃えて母校日本歯科大学の特別研究生として再入学。以来開業の暇をみては上京し実に18年間の研究の成果が報いられ晴れの博士号を取得されたのである。まさに生涯学習の見本とも言ふべきL. 市川弘の生き方であり、その精進に敬服するとともに心からの拍手と祝福を申し上げる次第である。

なお、2月13日(日)三谷温泉松風園ホテルにおいてその祝賀会が行われ当クラブからも市川会長他12名のしが参加した。

LCI協力金 \$40,000を突破か

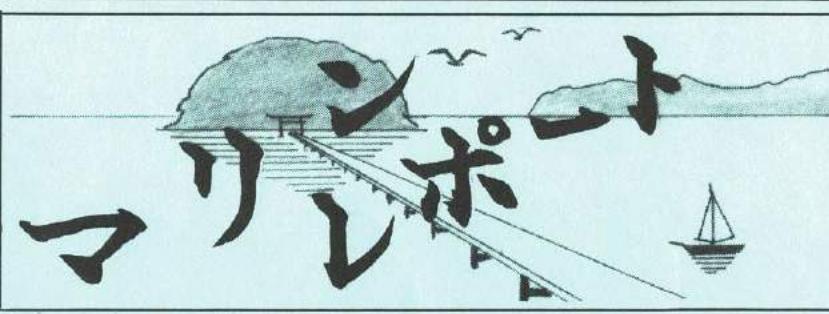
本年度は、LCI(ライオンズクラブ国際財團)募金の集大成の年であるとともに、我がクラブにとってもCN5周年の記念すべき時である。

本クラブの目標額 \$26,250をオーバーするよう、クラブ全員一丸となって努力しているが、現在までの見通しは、次のようである。

- ・個人特別協力額 \$22,000
- ・会員一律協力額 \$10,000
- ・チャリティ抽選会 ゴルフ、麻雀大会協賛額 \$8,000

以上合計 \$40,000

会員各位の今一息の協力を切にお願いする次第である。



No. 10 (飛躍号)

発行日 平成6年6月10日(金)
 発行 蒲郡マリンライオンズクラブ
 編集 同上 PR委員会
 事務局 蒲郡市港町 商工会議所内3F
 TEL 68-1100
 FAX 69-2200

厳かに、和やかに

クラブ創立5周年記念の大会を終了

平成元年2月28日に88名の会員でクラブを結成し発足したわが蒲郡マリンライオンズクラブの創立5周年記念大会は、去る4月9日(土)蒲郡市民会館東ホールを会場に開催した。

当日は、鈴木克昌蒲郡市長、木村日出雄334-A地区ガバナーをはじめとする来賓70名に加えて、生みの親である蒲郡ライオンズクラブの会員、姉妹提携を結んでいる飯田赤石ライオンズクラブの会員、更に本クラブの会員、有志会員夫人の合計300名の関係者が出席した。

オープニングに金井さなえ女史のハープ演奏を鑑賞し、定刻の11時30分に開会、大会委員長L深津六郎の歓迎のことば、会長L市川伊嗣の挨拶の後、7テーマにわたる記念事業の報告を行った。

来賓祝辞の中で木村ガバナーは、クラブが毎年継続実施している市民文化講演会と、4万ドルに及ぶLCIF(ライオンズクラブ国際財団)献金の協力を賞賛された。また、鈴木市長はまちづくり市民運動の先駆者であり実践力に富むボランティア団体としての当クラブに強い期待をしている旨を述べられた。

式典の部を予定どおり12時20分に閉じ、休憩に続いて祝宴に移った。

祝宴は専門業者の設営に頼らず、会員が飲み物、かけそば、フルーツ、コーヒー、日本茶、料理等をサービスする手作りのパーティが参加者に好評で、そのうえ式典部会員がアイディアをこらしたチャリティ抽選会でヒット景品が当たる度に歓声が沸き上がった。

和やかな楽しい懇親に名残を惜しみながら、14時に全員で『また合う日まで』を合唱、その後ロアーライドを高らかに発声して大会行事を終了した。



市長へ目録贈呈をする会長L市川

新年度の役員が決定



新会長 L永田武満

会長	永田 武満	二年理事	鈴木 光喜 (三献推進)
前会長	市川 伊嗣	"	水野 雄二 (大会)
第1副会長	井沢 敏雄	"	山口 正 (市民教育奉仕)
第2副会長	野田 孝道	"	鈴木 孟 (YE, LCIF)
第3副会長	榎本 尚史	"	鈴木 良朗 (PR)
幹事会	加藤 寿則	一年理事	石川 杉夫 (環境保全、公衆安全)
計	鈴木 修身	"	福沢 君夫 (社会福祉)
ライオンテーマー	市川 寛	"	吉見 敏春 (会則付則)
テーラツイスター	金森 尚弘	"	市川 貞夫
会員理事	高橋 二郎	"	石田 敬二
副幹事	平野 優	"	大岩 敏郎
副会計	三浦 雅敏	"	大竹 敏 (計画兼姉妹提携)
副ライオンテーマー	小田 倉平	() 内担当委員会	
副テーラツイスター	山田 金弥		
会計監査	正 山本四十三	副 大岩 敏郎	
PR委員	大原 義政		

クラブに初の女性会員

近藤綾子 NTT所長が入会

4月のNTT人事異動により蒲郡営業所長に近藤綾子女史が着任、これに伴うクラブ交代会員としての入会式が、4月22日(金)の第124回例会において行われた。

「ライオンズの誓い」の後会長より用品を贈呈、L近藤綾子の挨拶があった。

「蒲郡のこと、ライオンズクラブのこと、ともに西も東もわかりませんのでよろしくご指導下さい」と女性らしい謙虚さと誠実さが溢れていた。

ところで、本クラブでは初の女性会員でありまた、2リジョン管内でも稀有のことであり、その存在と活動が注目されよう。

L近藤綾子がクラブによりなじみ、活動しやすいよう、この機会に女性の入会を勧誘すべきとの意見が理事会でも出され、会員委員会に諮問することとなった。

なお、この日のゲストスピーカーは、民謡師範木村君多香女史で、さながら「女性デー」となった。

《解説とお願い》

ライオンズクラブが取り組む

視力ファーストキャンペーンに協力を

4千万人を越える失明、視力障害者

国連の調査によると全世界の人口およそ50億人のうち、約4千万人が失明、または視力障害に悩んでいるといい、その多くは、発展途上国の貧しい人々で病気や栄養不良が主な原因とされている。

わが国のような先進国では治療と健康管理で失明を防ぐこともできるが、その日暮らしにもこと欠く國の人たちはまさに重大な問題となっている。

このことを真剣にうけとめたライオンズクラブ国際本部は、地球から失明をなくすこと、即ち視力ファースト(第一)キャンペーンを世界中にあるライオンズクラブの力を動員してここ数年間強力に展開している。

具体的には視力ファーストキャンペーンを推進したり、大災害による被災者を早急に救うため、クラブ会員の善意寄託によるLCIF(ライオンズクラブ国際財団)基金を造成し救援支出をすることにより世界的社会福祉に寄与貢献をしておる現状である。私たち蒲郡マリンライオンズクラブはこれに一層協力し、創立5周年事業の一環として今回、4万ドル(約4百万円)をLCIFに拠出献金を行った次第である。

視力障害者に愛の光を送ろう

以上のように世界中にある4万余のライオンズクラブから寄せられる基金は、主に発展途上国のために眼科病院、治療所、検診所を設置したり、医師団を派遣したり、障害者にメガネ等の器具を贈る費用に充てられている。

ところで日本のライオンズクラブは、LCIF基金協力の他、独自に角膜を死後提供する献眼登録を広く市民に呼びかける運動を全国的に推進している。

献眼運動に協力、登録を

献眼登録は具体的には名古屋市中区栄4-14-28にある愛知県アイバンク(眼の銀行)で行なうわけであるが、ライオンズクラブはその登録のお手伝いを積極的に実施している。

恒例の「市民健康祭り」の献血会場において、もしくはライオンズクラブの事務局(市内港町商工会議所3F TEL. 68-1100)でも手続きを代行させてもらうので、ぜひこの趣旨を理解され視力障害者に愛の光を贈るための献眼登録をお願いする次第である。

なお、希望される方は事務局へ電話をくだされば担当会員が直接お宅へ参上しますのでよろしくお願いします。

「マリンレポート第10号」の発行に思う

平成4年7月31日に第1号を発刊した本紙がここに第10号を迎えた。

1年に5回のペースで企画編集し、2年間に10号を数えたわけである。

市民のみなさんに少しでもライオンズクラブの存在を知つていただくとともに、ライオンズクラブの奉仕活動にご協力を願うことを意図したが、どの程度理解され、ご支援を頂戴することが出来たであろうか。

今後は、PR委員会が中心になり愛読くださった市民のみなさんや、クラブ会員にアンケート意見を求める実態把握の中から、より愛し親しまれ、またPR効果の上がるような本紙の発行方法を模索すべきと思っている。

第10号発行を一つの節としてマリンレポートが新しいスタイルで一層の充実が図られることを切に希望してやまないものである。



No. 11

発行日 平成 6年 10月 1日(土)
 発行 蒲郡マリンライオンズクラブ
 編集 同上 P R 委員会
 事務局 蒲郡市港町 商工会議所内 3F
 TEL 68-1100
 FAX 69-2200

おまたせしました 第 11 号をお贈りします

昨年の冷夏、暖冬から本年の猛暑、水不足。地球全体がなにか重い病にかかった前兆ではないかと思えます。取り返しのつかなくなる前に、一人一人で出来ることから、この地球を守っていこうではありますか。

『みんなの和 奉仕の輪』これが本年度の当クラブのスローガンです。私どもの活動にご賛同をしていただけたみなさんの積極的な参加とご協力をお願ひいたします。

本号は市制 40 周年記念、第 6 回市民文化講演会（星野仙一講師）について特集を組みました。来る 11 月 2 日(木)午後 6 時よりクラブ員がお待ちしています。是非ご来聴下さい。

第 6 回市民文化講演会に寄せて

会長 L 永田 武満

燈火親しむ秋、野山の草樹木も色を変え、心地良い風は枯れた草樹を鳴らしオーケストラを奏で、人は物思いに耽る。書を読み、朋友と語らい、ふと何歳になってもロマンチックな奥深い感性に捕らわれ、気が付けば、筆を走らせており、何の躊躇いもなく自分だけの世界、夢の中のステーズを掛け登っている。故郷の秋とは素晴らしいですね。

今年度は、市制 40 周年を記念し、講師に中日ドラゴンズ前監督、星野仙一氏をお迎えして第 6 回市民文化講演会を開催いたします。

先生の選手時代、監督の時代、そして現在の評論家としての時代。それぞれの時代を、種々の立場で培われ、会得された様々な話題、有意義なお話。前途ある少年達に、野球の醍醐味と多くの夢を秘めた星野流のユーモアに富んだスピーチを聞かせて戴けるものと期待しております。今回、ここに開催出来ました事は、市民の皆様のご理解とご協力、そして蒲郡市、市教育委員会を始めとする関係各位のご尽力に對し厚く御礼申し上げます。

さてライオンズクラブとは、どの様な人たちの集まりで、どの様な事をする団体なのでしょうか。一部の方から、ライオンズは金持ちの特権階級の集まりに過ぎないと痛烈なご批判を受けた事が有ります。……が、決してそうではありません。

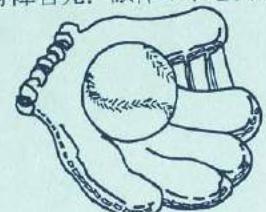
ライオンズクラブの基本理念は『会員は知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進する』です、私共は百獸の王らしいおんではありません。クラブの基本理念の英字頭文字をとつて LIONS と呼びます。

国際協会が認めた日本の、そして蒲郡のマリンライオンズクラブは地域社会に対し広い意味での角度から、お手伝い出来る処はし、特に青少年の育成事業（ボーイスカウト、ガールスカウト、海洋少年団、市子ども会活動等）また社会福祉事業（老人ホーム、重度心身障害児、献体の不老会等）その他数え切れない諸事に對しても心を配った活動を続けております。

この文化講演会は毎年開催しておりますが、毎回大盛況で、お世話をした甲斐があったものと喜んでおります。今後とも蒲郡マリンライオンズクラブに対し一層のご支援ご鞭撻を賜ります様、書面をお借りしてお願い申し上げます。



会長 L 永田 武満



No. 11

第 6 回市民文化講演会のお知らせ

講師プロフィール

- | | |
|-------|---|
| 1947年 | 岡山県倉敷市生まれ。 |
| 1969年 | 明治大学政経学部卒。
同年ドラフト1位で中日ドラゴンズ入団。 |
| 1986年 | 現役生活14年間で獲得したタイトルは、沢村賞、最多セーブ賞、最優秀率役手等。この間2度のリーグ優勝にエースとして貢献。 |
| 1988年 | 中日ドラゴンズ監督就任。 |
| 1991年 | 中日セリーグ優勝。 |
| 1992年 | 中日退団。 |
| | 1992年よりNHK野球評論家、スマートで辛口の解説で殊に女性に人気絶大。 |

とき：11月2日(木)午後6時開場

6時30分開演
8時終了予定

ところ：蒲郡市民会館大ホール

講師：星野仙一先生

テーマ：星の数だけ“夢”をみて

入手先：図書館、市民会館、市教委社会教育課
市内各書店、市内金融機関他

- お
願
い
1. 参加希望の方は、混雑が予想されますので早めに入場整理券（無料）を入手下さい。
 2. テープレコーダー、ビデオ、カメラの持ち込みはご遠慮下さい。

《アクティビティ報告》

1. 献腎献眼登録推進キャンペーン ありがとうございました
7月31日(日)午後0時から3時まで、蒲郡まつり会場にて、親クラブである蒲郡ライオンズCと合同で献血献腎登録推進キャンペーンを行なった。当日の献血登録105名、献腎登録13名と用意した記念品がなくなるほどの盛況で、これも市民の皆様のおかげ、厚く御礼申しあげます。

2. 蒲郡クリーンキャンペーンに協賛
竹島海岸周辺を清掃奉仕

8月28日(日)朝8時より約1時間、蒲郡クリーンキャンペーンに協賛し、当クラブ会員85名を始め総勢約200名により竹島海岸周辺の清掃奉仕を行なった。早朝とはいえ猛暑の中、まさに汗まみれではあるが、心地の良い汗をかきました。終了時には、鈴木蒲郡市長のお礼の挨拶があり、国体に向けての準備も整ったしました。



竹島海岸周辺を清掃奉仕する会員

皆さんにお願い

- ・使用済みテレホンカード
 - ・古切手——同種類、何枚でも可
 - ・書きそないのハガキ
 - ・ポケットの中の1円玉
- 恵まれない世界の子供たちのボランティア活動に使用しますので、市民の皆様のご協力ををお願いします。
- ライオンズ事務局までご一報下さい。

本誌への投稿を歓迎します

マリンレポートの誌面を活用してみませんか。奉仕、教育、健康、安全、環境等、当クラブの目標に沿ったテーマであればどんな内容でもかまいません。

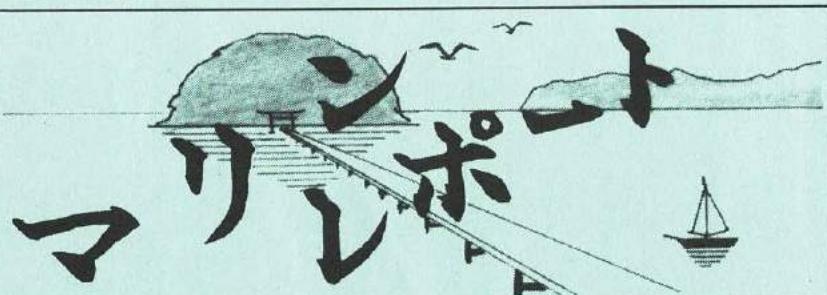
投稿先はマリンライオンズP R 委員会宛にお願いします。

永向寺 Jazzfestival '94

当クラブ員、L 松井慶彦が住職を勤める永向寺（市内丸山町）境内において、8月21日午後5時から9時まで、『ルワンダの子どもを救おう チャリティコンサート』が開催された。

あいにくの雨の中300名を超える観衆が詰めかけ、お堂の軒下、傘を差しての立ち見等でジャズコンサートを楽しんだ。

出演者は、地元のプロ、セミプロ、愛大モダンジャズ研究会員等約50名。今回の催しが初めての試みであったが、平均年齢23歳という若いスタッフの情熱で見事実を結ぶことができた。拠金は32万円余にのぼり、外務省を通じユニセフに贈り、ルワンダの子供たちの為に使うとのこと。L 松井ほか、関係者の皆様ご苦労様でした。



No.12

発行日 平成6年12月9日
 発行 蒲郡マリンライオンズクラブ
 編集 同上 PR委員会
 事務局 蒲郡市港町 商工会議所内3F
 TEL 68-1100
 FAX 69-2200

第6回市民文化講演会に2500名の聴衆 星野仙一氏のエピソードとユーモアに沸く

本クラブ主催で蒲郡市教育委員会と共に開催された第6回市民文化講演会は、11月2日(水)夜6時半から市民会館大ホールで行いました。前評判どおり、講師の人気もあって聴衆は、2500名の多くを数え、一部の人は中ホールの大型ビデオで講演を聞く結果となりました。

会長の挨拶に続いて、鈴木蒲郡市長の歓迎の辞の後、講演に入りましたが“星の数だけ夢をみて”と題する講演要旨とその模様は次のとおりあります。

「監督という仕事は神経をすり減らし体をこわす商売です。中日の監督時代、ファンは勝っている時はすごく機嫌がよいが、負けが続くと“ぼろくそ”でみじめそのもの。阪神ファンもひどいが、中日ファンはそれ以上である。

今年の公式戦で、中日は最後の決戦までいったのに、何故もうひとふんばかりできなかつたのか、今でも怒れてしまうがいい。日本一になった長島巨人はたまたま運がよかつただけのことと思う。あそこまでいったら優勝しなければ男ではない。JリーグでもWカップでも後一步の努力が足りない点が問題である。

負けたチームの選手がピストルで殺されたり、ファンの暴動が収まるまで牢屋に避難しているような国もあることを考えれば、日本は余りにも平和すぎる。

長島親子のエピソード、仲の良い田淵幸一、山本浩二氏との家族ぐるみのお付き合いの話などを織りませ、星野流のユーモアに富んだスピーチで満員の会場を沸かせられた。

星野講師に対しては、形原北野球少年団の代表3名がお礼の花束を贈り、聴衆の盛大な拍手をもってお送りし、8時過ぎ無事、講演会を終了しました。

今日、人間が3人寄れば健康の話となり、そして第1に飛び出すのが「ガン」の話題といわれます。市民病院の竹内先生に「ガン」についての特別寄稿を頂きましたので、今号と次号にわたり掲載します。一読され、健やかな生活を送ってください。

「ガンの話」

蒲郡市民病院外科部長 竹内元一

1. ガンとは

死因となる病気は、年々変化しており、1つの致命的な病気の治療が開発・克服されても、また新しい病気が出現します。1981年に脳血管疾患をもつて死因のトップとなったガンは、現代医学の最大の課題です。4人に1人がガンで死ぬ時代であり、蒲郡市でもここ8年間で1000人に近いガンの手術をしました。蒲郡に住む40才以上のガン年令の方の凡そ50人に1人がガンで手術をうけた計算になります。ガンはもともと自分の体をつくっている細胞が、ガン細胞に変わることから始まります。恐いのは、自分でガンが認識できないことです。外から入ってきた病原体に対しては、それを認識する免疫機構があり、それに対する反応が起こり、痛み、熱などにより病気にかかったことを認識できますし、それを治そうとする機構が働きます。



ガンはもともと自分の細胞ですから、それが悪者だと認識する機構は働かず、早期には全く症状がありません。進行して臓器の機能障害を起こしたり、圧迫による症状、出血による症状などが出て初めて受診のきっかけとなります。確実に手術で治せる、局所に留まっている早期ガンを見つけるには、症状がないうちにガン検診を受けるのが最もよい方法です。

2. ガンの病期

ガンは凡そ次の3つの臨床病期に分かれます。早期ガンはガンが最初にできた場所(原発局所)だけにとどまっており、通常無症状であり、外科的切除により完治が可能な段階です。

進行ガンになると原発巣も大きくなり、症状が出ると同時に、ある時期に転移巣を形成します。転移にはリンパ性、血行性、播種性と3種類があり、通常この順番に進んでいきます。リンパ性転移にとどまっている段階では原発巣の切除とともに、リンパ節郭清をすることにより根治させることも可能です。

血行性転移は多発性遠隔転移を起こしますから、なかなか根治は難しくなりますが、中には原発巣と同時に転移巣も切除して治せる場合もあります。

播種性転移を起こすとガン性腹膜炎、胸膜炎となり、もはや外科的治療の対象とはなりません。最後の末期ガンの段階では我々の力では治すことはできません。

痛み、発熱、栄養障害などの症状を取って、残った寿命を有意義に過ごさせ、来るべき死を安らかに迎えるための緩和ケアに心を砕く 것입니다。(次号に続く)

例会で腎臓移植の体験談を聞く 命の奉仕、献腎運動の必要性を痛感

10月28日(金)の本クラブ第136例会において腎臓移植手術をされた市内在住の福井啓二さんの体験談を伺いました。福井さんは、若い頃から腎臓病を患い、そのため長い間人工透析を続けましたが、腎臓バンクに移植希望を申請し、幸い僅か3ヶ月後に適合ドナー(献腎者)が得られ、手術をうけました。

成功率は60%と云われましたが、担当医師団の努力によって成功し、現在は不自由のない生活を送っています。

現在、ドナー(献腎者)の数よりも腎臓移植希望者の方が遙かに上回っている状況で、理解ある人々の献腎登録をお願いしたいと強く訴えられました。

私たちライオンズクラブは、全国的に命の奉仕というボランティア運動を進める中で、献血、献腎、献血と骨髄提供の4つを呼びかけています。市民のみなさんのご協力を切にお願いします。



わがクラブの 2つの奉仕活動を紹介



◇不老会蒲郡支部へ

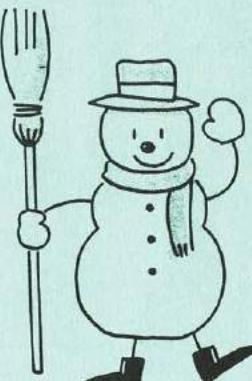
不老会蒲郡支部(代表 石川糖一氏)で医学生のための献体運動を進める会へバスタオル100セットを10月5日に寄贈しました。

◇市老人クラブ連合会へ

蒲郡市老人クラブ連合会へ蒲郡警察署を通じてヒールライト1,500組をプレゼントしました。

10月28日実施。

ヒールライトとは履物の「かかと」に貼る交通安全用の夜光反射用テープのことです。





No.13

発行日 平成7年1月31日
 発行 蒲郡マリンライオンズクラブ
 編集 同上 P R委員会
 事務局 蒲郡市港町 商工会議所内3F
 TEL 68-1100
 FAX 69-2200

大地震被災のみなさんを 心からお見舞し速かな復旧を祈ります

1月17日の午前5時46分頃、突然、震度7の大地震が神戸、淡路島、大阪方面を襲い、

死者、行方不明者 5,100名余 負傷者 27,000名。

倒壊家屋 100,000戸余 被災・避難者 310,000名

停電、断水等世帯 1,000,000戸を数えるという。

かつての関東大震災以来の大災害が発生しました。

多数の亡くなられた方々のご冥福を祈念するとともに、寒さの中きびしい条件のもと復旧に向かい懸命に頑張っておられる方々を謹んでお見舞申し上げ、速かな立直りを切にお祈りするものであります。

今、私たちの周りには、肉親、親戚、恩人、同級生、友人、知人等についてその生存や被害の程度が心配される人々が何人かおられるのが実情と思われます。

連日のテレビ、ラジオ、新聞の報道から都市直下型地震の被害に驚くと同時に、全く他人事とは考えられない、わが身に置きかえて被災者のみなさん方に何かをしてあげたい、お役に立つことはできないかというのが、お互いの卒直な気持ちといえましょう。

ボランティアとして活躍する若い人たち、義援金を寄せる人、義援物資を発送する人、学用品を贈る子どもたち、献血を申し出る人等、それぞれの協力支援方法がみられます。また、被災者同士が乏しい食べ物を分かち合い、品物を融通し、自分の犠牲にめげず、他人の救助に手をかし、激励しあっている行動にも強く心を打たれます。

「未だ、日本人の道義、地に落ちず」、人間の心の美しさに感動させられる日々であります。

ところで、わが蒲郡マリンライオンズクラブも、取急ぎ義援金50万円(会員1人当たり5,000円)を1月27日の例会において拠出し、蒲郡市役所を通じて被災地のみなさんに贈りました。さらに、2月10日にチャリティボーリング例会を開き、その収益金を寄託する予定であります。阪神大震災の災害復旧は長期間にわたると予想され、今後引き続いて私たちが協議し取組まなければならない問題と考えます。

いずれその節は市民各位に協力を呼びかけることや、一体となって努力する事態もあろうかと思われますので、紙上より、よろしくお願い申し上げます。

ガンの話 そのII

蒲郡市民病院外科部長 竹内元一

1. ガンとは 前号で記述

2. ガンの病期 " "

3. ガンの転移

ガンが遠隔転移を起こしますと、以前はもうこれは末期的な状態で外科的治療の対象とはなりませんでした。

というのは、例えば大腸ガンが肝臓、肺などに転移するということは、ガン細胞が血液の中に入つて運ばれ、肝臓や肺に着床し、そこで増殖して大きくなることですから丁度ゴキブリが一匹おれば、その周りに30匹はいるといわれるのと同様に転移が1個見つかれば、他にも隠れた転移が沢山あるの

だから見つかったものだけ手術で取っても仕方がないという考え方に基づくものです。

この3~4年、私は肝転移、肺転移に対しても原発巣がきちんと取れており、転移巣を取っても肝臓や肺の機能が残っているものについては、積極的に切除をしております。今まで行った13の手術例のなかで、通常見つかれば半年くらいの予後といわれている転移例で、2~3年の長期生存例が出ており、しかも7例では今のところ転移の再発をみておりません。とくに大腸ガンの転移例で成績がよく、何事にもあきらめずにやってみるのが大切であります。

4. 潜伏ガン

ガンの中にもおとなしいガンがあります。甲状腺、前立腺のガンの中に潜伏ガンと呼ばれるものがあります。これは5mm以下の大ささで、なんら症状を表わさないし、何10年も大きさが変わらないもので、無論死因にもなりません。たまたま、他の病気で亡くなられた方を解剖してみると、何10人かに一人の割合で見つかるものです。こういうガンであれば治療の必要がないといえます。ところが最近、検査機器が発達して小さな潜伏ガンまで見つかるようになってきました。

見つかってしまうと、中には大きくなって進行するものもあるため、手術で取ろうということになります。

本来、見つかなければ別の病気で死ぬまで潜伏ガンのままであったものが、手術したために甲状腺を全部取って甲状腺ホルモンの補充をしなければならなくなるという不合理が出てきました。今、甲状腺のおとなしいガンについては、どの位の大きさになったら手術すべきかという議論が学会でなされています。(次号へ続く)

「ライオンズ会員の愛蔵品展」が終る 会期中の入場者数は2,000名を越す

蒲郡市制40周年を記念して、蒲郡ライオンズクラブ、蒲郡市、蒲郡市教育委員会が主催し、私たち蒲郡マリンライオンズクラブが協賛した「ライオンズクラブ会員による愛蔵品展」は、市博物館において新春の1月13日にオープンし、1月22日で閉幕しました。

この間、成人の日、日曜日、代休日を含めた3連休もあり、会期中 2,000名を越す熱心な人々が会場を訪問しました。出品数は、59件、78点にのぼりましたが参観者の中からは、主に

- 市内にこんなすばらしい貴重な文化財や美術品が所蔵されているとは想像されず驚いた。
- 広く市民に鑑賞のチャンスをつくられたことは嬉しかった。
- 重要文化財に指定されている太刀はどのような事情や経路で愛蔵家のもとにきたのかを知りたい。
- 愛蔵者の氏名を公表しないのは、個人の自慢展にならずよかったです。
- 会期中の安全対策に係者は、苦労されたことと思う。
- 今後もこのような催しを実施してほしい。



会場風景

以上のような声が聞かれました。この度の企画は、極めて好評で、市制40周年にふさわしい記念事業になったといえましょう。実施主体となった蒲郡ライオンズクラブの努力に対し、深甚の敬意を表します。

なお、わが蒲郡マリンライオンズクラブも会員7名が出品提供(7名で17名が出展)をし、協賛金(20万円)を寄託したことを見付ける次第であります。

